

(第2号様式)

石川第 1985 号
令和8年 3月 19日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立石川学校
校長 宇地原 光
(公印省略)

令和7年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和7年12月5日付け教県第1750号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

| | | | | | | |
|-----|----|------------|----|--------|------|------|
| 第1回 | 日時 | 令和7年7月15日 | 場所 | 本校小会議室 | 出席状況 | 全員出席 |
| 第2回 | 日時 | 令和7年12月16日 | 場所 | 本校小会議室 | 出席状況 | 全員出席 |
| 第3回 | 日時 | 令和8年2月25日 | 場所 | 本校小会議室 | 出席状況 | 全員出席 |

2 学校評議員に求めた事項

- ・学校の特色ある取組について(多様な生徒への就学支援:軽度発達障害、通級、愛着)。
- ・進路支援の在り方について(上級学校および就職支援)。
- ・問題行動への対応について。

3 学校評議員の意見

- ・生徒支援の適宜改善と通級への取組を期待する。
- ・外国籍生徒の支援で日本語支援員が配置された事は大変心強い。
- ・学校の特色を高める一つとして、部活動の充実を期待する。
- ・問題行動の中身に合った支援充実を期待したい。

4 学校運営に反映した事項

- ・生徒の実態に対応するため、校内研修を複数実施し、職員のスキルアップを図りながら、本校教育実践の質的向上を図った。
- ・生徒個々の実態に応じ、保護者と協力・協働しながら、より適切な支援方法と常に模索しながらその充実を図った。
- ・多様な生徒への支援体制の充実を図った。

5 課題その他

- ・R8年度通級導入を図り、生徒情報共有・引継ぎを定例化し個別最適な暫定的支援追究体制の軌道化を図る。
- ・不安定な就学実態を改善する基礎システムの在り方(カリマネ)に関して、校内協議の継続と改善案の提出。
- ・生徒支援情報の分掌間連携を推進しながら、全職員が主体的に関わる校風の涵養を図る。